

仙川小金井分水路（仙川）

施設概要

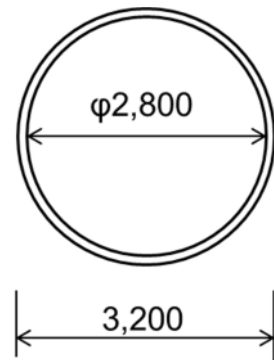
仙川・小金井分水路は、家屋が密集し、河道拡幅が困難であった仙川上流域の浸水被害を早期に解消することを目的として整備した分水路です。

この分水路は、仙川上流部に位置する花見橋の上流で取水した後、都道 247 号線（通称：東大通り）や都道 134 号線（通称：連雀通り）の道路下を通過し、野川の小金井新橋下流（野川第二調節池下流）に合流します。

整備に当たっては、シールド工法による整備を実施し、昭和 49 年に工事着手、昭和 52 年度には野川へ総延長 1,950m の分水路を整備しました。



仙川小金井分水路平面図



断面図



取水口



吐口

施設諸元

位置	小金井市緑町二丁目～同市中町一丁目
完成年度	昭和 52 年度
区間	仙川花見橋上流～野川小金井新橋下流
延長	1,950m
断面構造	円形管 Φ2.80m
□ : 矩形、(縦×横 : 内空)	
Φ : トンネル、内径	

位置図



●取水口位置の QR コード



●吐口位置の QR コード

